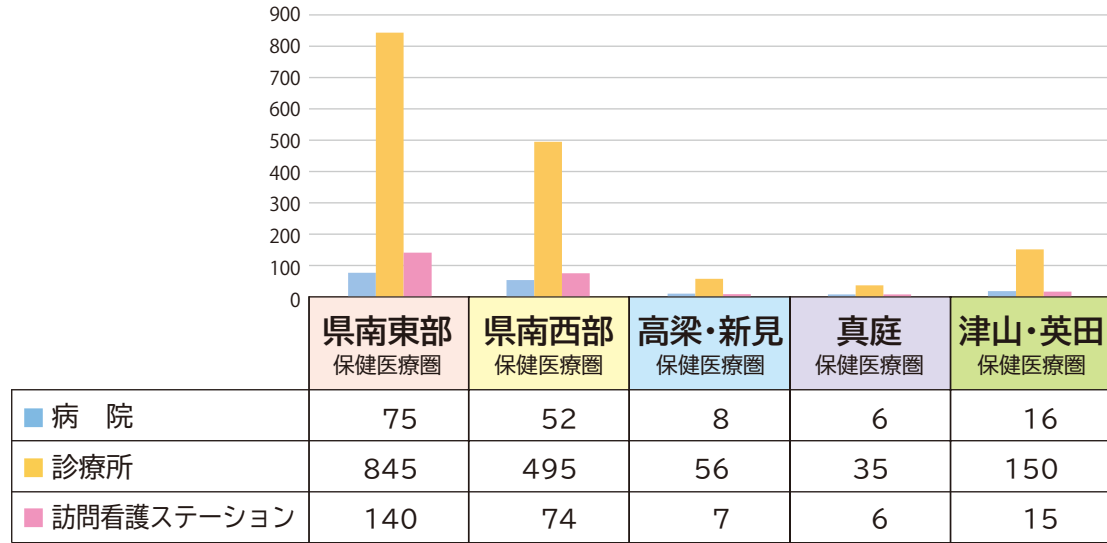


岡山県の看護の動向

Data

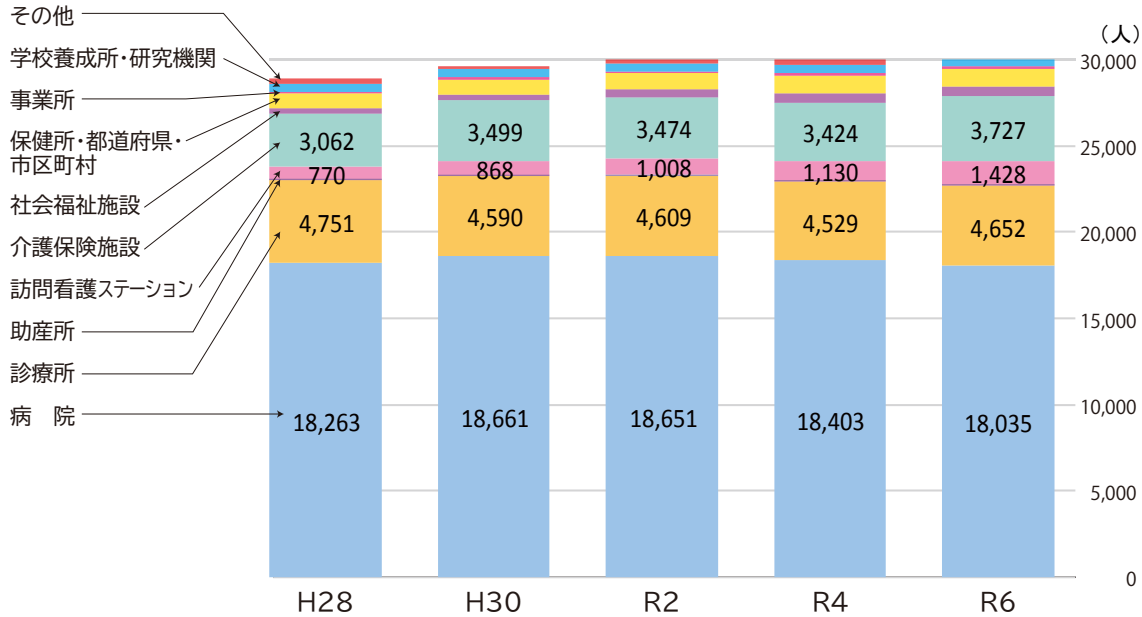
医療機関等の数は、県南東部・県南西部圏域で多くなっています。
 県内看護職の約6割が病院で勤務していますが、診療所や訪問看護ステーション、介護保険施設等での勤務も増加しており、勤務場所は多様化しています。

①医療機関・訪問看護ステーション数



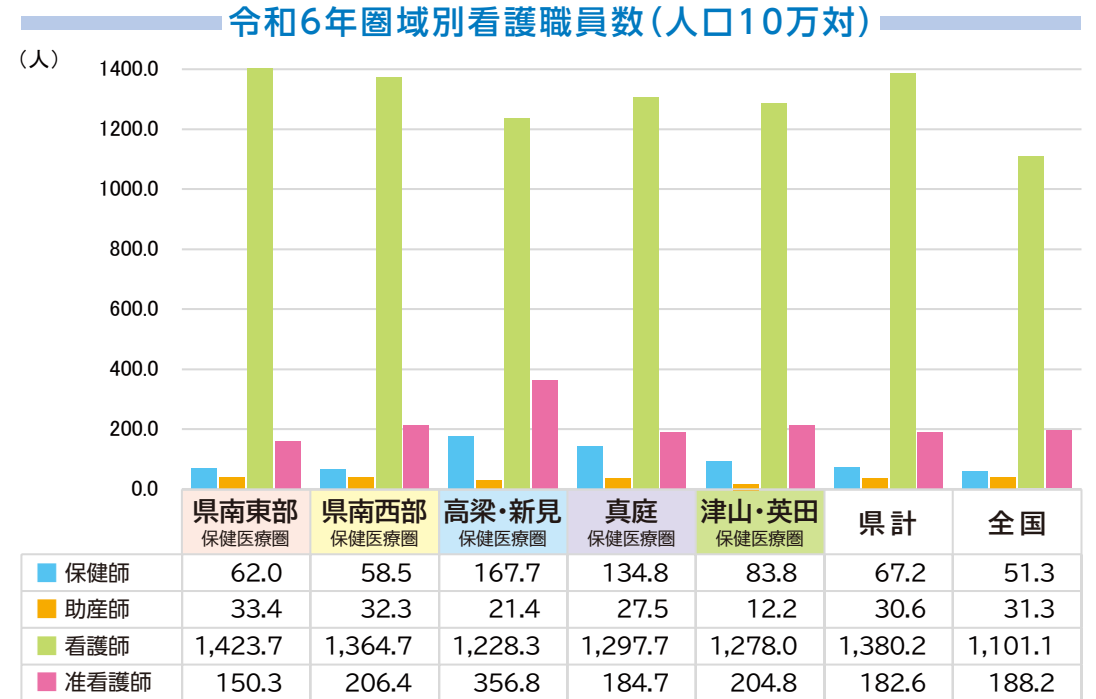
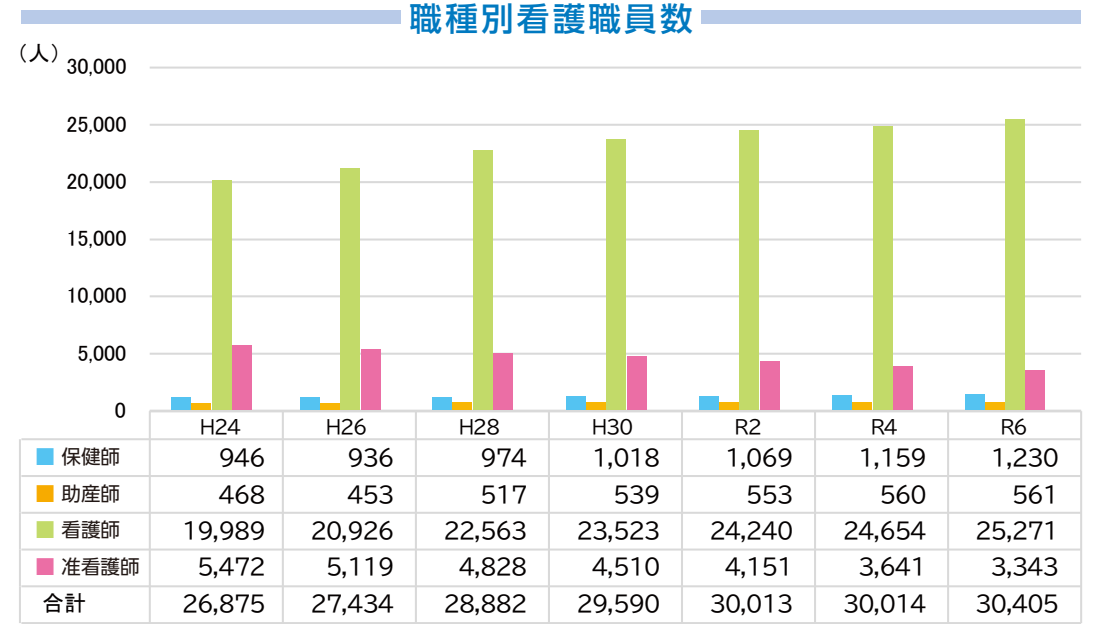
資料：岡山県子ども・福祉部 保健福祉施設・病院名簿（令和7年4月1日現在）
 厚生労働省 令和6年医療施設調査（令和6年10月1日現在）

②就業場所別看護職員の推移



③職種別、圏域別看護職員の推移

県内で、業務に従事する看護職員数は増加しており、令和6年には30,405人となっています。
 県内看護職員数を人口10万対で全国平均と比較してみると、保健師、看護師が上回っています。しかし、圏域毎に職種の差も見られます。



②③資料：保健師助産師看護師法第33条による届出数（隔年12月31日現在）、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」